

生駒市在宅医療介護連携の課題に対する取組状況

検討項目	主な課題	取組提案		
		提案のタイトル	内容	実施状況
1 情報共有	(1) 入退院調整マニュアルの利用が十分にできていない	① 入退院調整マニュアルの活用	○入退院調整マニュアル運用状況調査、合同会議の実施 ・1年に1回、入退院調整マニュアルの使用状況に関する調査を市内病院と介護事業所向けに実施する。 ・調査結果の報告と、入退院調整マニュアルのよりよい運用に向けた検討を行うため、市内の医療介護事業所にて合同会議を開催する。	○合同会議 ⇒令和元年8月5日 実施済 ○運用状況調査 ⇒令和2年2月 実施予定
			○出前講座の実施 病院側の入退院調整マニュアルの普及が進んでいない。市の職員が病院スタッフ向けに、入退院調整マニュアルなどの医療介護連携に関する取組の説明を行う。	令和元年6月～7月 実施済
			○入退院調整マニュアル普及のための啓発物を作成 ・入退院調整マニュアルの簡易版（ポスターやリーフレット）を作成し、病院の出入り口など市民・職員ともによく目にする位置に掲示する。 ・啓発用DVDを作成し、院内で放送する。	
(2) 退院時の情報共有がスムーズになっていない	② 退院時情報を共有するための体制づくり	○病棟看護師など病院スタッフへのフィードバック ・病院スタッフの意識改革のため、退院後の生活の様子や、本人・家族の気持ちをフィードバックし、病棟でのケアが在宅で活用されていることを実感してもらう。 ・退院後の様子を知ること、病院スタッフに在宅療養について興味を持ってもらうように工夫する。		
(3) 薬剤師との情報共有ができていない	③ 薬剤師と医療介護事業所の連携体制づくり	○薬剤師と医療介護事業所との連携体制づくり ・薬剤師と病院や介護事業所にて情報共有が出来るための体制づくりを行う。		

検討項目	主な課題	取組提案		
		提案のタイトル	内容	評価
2 相談	在宅医療・介護連携支援センターの普及がされていない	④在宅医療・介護連携支援センターの活用	○在宅医療・介護連携支援センターによる講座 センターの存在を認知してもらうために、介護職向けに在宅医療に関するミニレクチャーを開催する。	秋（10月～12月）に1回、冬（1月～3月）に1回 実施予定
3 連携体制	病院と介護事業所との連携が難しい	⑤医療介護を支える連携体制づくり	○ケアマネタイムの創設 ケアマネが医師に相談しやすいようにケアマネタイムを取り入れる。	
			○病院スタッフ向けに研修会を開催 在宅療養に興味、関心を持ってもらえるように介護保険制度や在宅療養に関する研修会を開催する。	
4 研修・人材育成	(1)訪問診療が出来る医師の把握が出来ていない	⑥在宅医療・介護連携センターの活用（④再掲）	○在宅医療・介護連携支援センターの普及 ・センターの役割や目的について、病院や介護事業所に周知する。 ・医師会と協力し、ケア倶楽部に記載されている内容を精査し、実態の確認を行う。	在宅医療・介護連携支援センターと調整中
	(2)看取りに対応できるスタッフの育成が進んでいない	⑦多職種研修、テーマ別研修の開催	○多職種連携を促進する合同研修 ・「看取り、ACP」をテーマに研修会を開催する。 ・お互いの状況や役割を理解し、チームによる支援体制を考える。	○ACP ⇒令和元年9月 実施予定 ○合同研修会 ⇒令和元年10月 実施予定
			○職種別研修の開催 ・介護職等への在宅医療に関する研修 ・施設職員向けの看取りに関する研修等、同職種間での研修会を開催する。	秋（10月～12月）に1回、冬（1月～3月）に1回 実施予定
(3)入退院調整マニュアルの普及	⑧入退院調整マニュアル普及のための掲示物を作成	○入退院調整マニュアル普及のための啓発物を作成 ・入退院調整マニュアルの簡易版（ポスターやリーフレット）を作成し、病院の出入り口など市民・職員ともによく目にする位置に掲示する。 ・啓発用DVDを作成し、院内で放送する。 （*1（1）①の再掲）		

5 普及啓発	(1)在宅医療介護に対する理解不足	⑨市民フォーラムの開催	○市民フォーラムの開催 継続した普及啓発のため看取り、ACPに関するフォーラムを開催する。	令和2年2月 <u>開催予定</u>
	(2)夜間・急変時の対応に対する不安	⑩ACPの普及	○エンディングノート作成 ・ACPを知っていただくためのきっかけ作りとして生駒市版のエンディングノートを作成する。 ・医療介護の現場などで急変時に対応ができるように、医療介護従事者・家族・本人の間で意思統一が出来るためのツールを作成する。	